

# 国土交通省に 指導を求める

## JR貨物の騒音

実効ある手だてを  
とらせるよう全力

東箱崎にある JR 貨物のターミナルからの騒音について、日本共産党の綿貫英彦市議は、11月21日、東京で国土交通省に「実効的な騒音対策をするよう JR 貨物を指導してほしい」と求めました。



深夜の騒音の実態を、国土交通省に生々しく訴える綿貫市議

綿貫市議は、国交省の担当者、住民から聞いた切実な訴えを届けました。「アイローゼになる住民もいて、不眠症で家を売って引っ越しする人もいた。住民が実際に騒音を測ると夜10時から12時まで75〜85デシベルひっきりなしだ。止まっている時もモーター音がすごい。『石を投げたくなる』という思いを持っている人もいた」

担当者は「JR貨物も午前2時から6時まで到着しないように工夫を」

## 深夜なのに 75〜85デシベルも

しかし、JR貨物は「現状通り、午前2時まで列車運行を行う」と回答するなど、まともな軽減策をうちだしてきませんでした。

- 貨物運行を午前2時でなく深夜12時まで。ブレーキ音・金属音の改善を。
- 深夜作業をやめること（トラックのエンジン音、リフトの荷物移動音など）。
- 貨物列車のスピードを落とすこと。
- 電気機関車を居住地近くでアイドリングしないように。停車位置変更を。

貝塚団地自治会、東箱崎校区自治会連合会、箱崎7丁目の住民のみなさんは、これまでもJR貨物の騒音を軽減するための申し入れをしてきました。

### 綿貫市議のコメント



JR貨物は報告書で「騒音・振動の軽減」を掲げ、同社が加盟する経団連は企業行動憲章で「高い倫理観と責任感」「社会から信頼と共感を得る必要がある」とうたっています。この言葉どおり実効ある手だてを取らせるよう、全力をあげます。

担当者は「局長・次長・審議官やJR貨物にも伝える」と述べました。しかし、綿貫市議らは「85デシベルは環境基準を超えている。命と健康にかかわる大問題だ」と追及しました。



東箱崎の JR 貨物のターミナル

75-85 デシベルは、「パチンコの店内」「ゲームセンターの店内」「救急車のサイレン（間近）」とされる「うるさい」音。



綿貫英彦  
市議会議員

日本共産党

東区民報  
2017年冬季号  
議会報告

綿貫英彦市議の活動を紹介します。市政へのご意見・ご要望をおよせください。（日本共産党東博多地区委員会 ☎631-0037）

発行：日本共産党福岡市議団  
www.jcp-fukuoka.jp  
電話 711-4734 FAX741-4627  
ツイッターやっています  
アカウント:watanukihide

無料 生活・法律  
そうだん

東区オフィス舞松原 2-17-30  
毎月第3水曜日 19～21時

和白・奈多  
美和台 3-7-16 三苦メゾンハイツ 101  
毎月第3木曜日 19～21時

弁護士と綿貫英彦市議が相談を受け付けます。サラ金・相続・離婚・生活保護・地域問題など何でもお気軽にどうぞ。

赤旗を読みませんか？  
日刊/月3497円 日曜版/月823円  
電話 631-0037へご連絡ください



# 9月議会で質問しました！



9月議会で市長に質問する綿貫市議  
(9月14日)

## 元寇防塁の保存と活用を

九大箱崎跡地



ほとんど痕跡もわからない  
西区・小戸の元寇防塁

綿貫市議は、市内の元寇防塁を調査し、地域・教育の資産として活用されていない実態を9月議会で明らかに。箱崎キャンパスで見つかった元寇防塁と思われる遺構をいかし、地元4校区の提案通り大規模な公園として整備するように提案しました。

## 核兵器禁止条約 日本参加促せ

核兵器禁止条約が採択されましたが、日本政府は参加していません。綿貫市議の質問に高島市長は

「条約の理念には賛同する」としつつ、独自に日本政府に参加を求めることは約束しませんでした。

## 介護保険料などの負担を軽く

介護保険料が制度発足時の2倍になり、高すぎて払えない人が厳しいペナルティによって、必要な介護が受けられないことが問題に

なっています。

綿貫市議は保険料・利用料の負担軽減や介護労働者の処遇改善を求めました。

旧「タラソ福岡」は今年3月末に前の事業者との契約が終わり、閉鎖されていました。  
しかし、継続・復活を望む住民や利用者の声があがり、市も借り受ける事業者を募集していました。  
その結果、9月に株式会社ダンロップスポーツウェルネス(千葉市)が決定しました。  
プールは海水でなく真水で再開し、フィットネスマシンも設置され、ふれあい交流館の管理運営なども行います。

綿貫市議・共産党が議会でくり返し求める  
綿貫英彦市議は、2016年9月議会で「タラソ福岡」を続けるよう一般質問を行いました。  
また、利用者からは1500筆以上もの存続の請願が出され、3月議会(条例予算特別委員会第5分科会)で審議されました。  
日本共産党は存続を主張し、この中で市側は2018年度から新施設での開業をめざす形で、検討を行う意向を明らかにしていました。

### 綿貫市議のコメント

### 声を反映させましょう

利用者・住民のみなさんの運動と共産党が力をあわせてこまできました。市は「おおむね閉鎖前と同じサービスを提供する方向」としており、利用者が使いやすくなるよう、これから開設までに意見を市や事業者へ届け、反映させていきたいと思います。



# 旧タラソ 福岡引継

# 新たな事業者が 決まりました！

## ダンロップ スポーツ ウェルネス

## 来年4月から開業予定



閉鎖されていた旧「タラソ福岡」